

# 地域とともに成長する事業者団体 結成5周年を迎えた九都連

九大学研都市駅地区商業連盟 会長 坂本 博崇 氏

JR筑肥線・九大学研都市駅周辺エリアで事業に取り組む経営者らが、より良いまちづくりの実現に向けて結成した九大学研都市駅地区商業連盟、通称“九都連”。地域に密着した活動を続け、今年結成から5周年の節目を迎えた。会員数も大台の100社が目前に迫り、九都連が地域振興にはたす役割は大きくなっている。



## COMPANY INFORMATION

会長:坂本 博崇

事務局:福岡市西区横浜2-20-33  
(ダスキン横浜支店内)

TEL&FAX:092-807-4500

営業時間:午前10時~午後4時  
(月・水・金)

URL:https://qtoren.com

## コロナ禍を乗り越え 迎えた5周年

——2018年の結成から5年、着実に認知度は高まっています。

坂本博崇氏(以下、坂本) まずは私たちのことを知ってもらおうと、結成1年目に、JR九大学研都市駅からすぐの

場所にある、山鼻古墳公園をメイン会場として、地域住民との交流イベント「九都連祭」を開催しました。当時は何もかもが手探りの状態ではありましたが、当日は4,000人超の人に足を運んでいただきました。以降、コロナ禍で中止を余儀なくされた年もありましたが、九都連の主な活動として、また、地域のお祭りとして、定着しつつあると感じています。

——九都連祭の当初の目的がはたされた格好ですね。

坂本 回を追うごとに来場者も増えていて、今秋開催し

た第4回九都連祭は天候にも恵まれ、約1万2,000人の方にお越しいただきました。地元だけでなく糸島市からも出店があり、結果として40店舗以上が九都連祭の賑わい創出に貢献してくれました。会員の皆さまの協力を得て実施した、豪華景品があたる抽選会やダンスパフォーマンスなど、ステージイベントも大盛況で、今後の活動にもさらに弾みがつくことと思います。

——九都連祭以外の活動についてはいかがでしょう。

坂本 同じく結成当初から続けている活動として、九大





ステージイベントも大盛り上がり



地域のお祭りとして定着した九都連祭



皆の協力で無事に開催された第4回九都連祭

学研都市駅を中心に、いくつかのエリアに分かれて清掃を行う、クリーンアップ活動があります。7・10・2月の年3回実施しており、清掃終了後には会員同士の親睦を深める目的で、ちょっとした交流会も開いています。

——会長就任のタイミングで、プレミアム付き地域商品券の発行も始まりました。

**坂本** 22年に1回目のプレミアム付き地域商品券の販売を行いました。販売総額は5,000万円で、プレミアム率は20%です。1万円の購入で1万2,000円分買い物ができるの

で、地域の皆さまに対する消費の喚起、ひいては地域経済の活性化につながればとの思いがありました。おかげさまで好評のうちに完売し、2回目となる今年は総額1億円(商品券8,000万円/キャッシュレス・九都連ペイ2,000万円、プレミアム分2,000万円)を販売。九都連ペイは即日、商品券も翌日には完売し、相応に地域経済を盛り上げることができたと思います。

——順調のようにも思えますが、振り返ると結成3年目にコロナ禍が直撃しています。

**坂本** さあこれから、とい

うタイミングで外出自粛や休業要請によって、行動を制限せざるを得ない状況になり、約2年、表立って活動することができなくなりました。新参者の会ということもあり、地域の皆さんも、何をやっている会なのだろうと不安に感じることもあったと思います。もちろん、コロナ禍でも補助金を活用したマスクの配布や、絵画&写真コンテストの開催など、やれることはやりました。同コンテストでは、送っていただいた絵画や写真をイオンモール福岡伊都店に飾っていた

## トップインタビュー

だくなど、地域密着ならではの取り組みになったと思います。

### 目標の会員数 100社が目前に

——会長に就任されてから目標にしていることは何ですか。

**坂本** 就任前はコロナ禍の影響もあり、九都連結成後の会員数は約50社で推移していましたので、倍の100社を会員にすることを目標に掲げました。プレミアム付き地域商品券の販売とその効果は目標達成への後押しになりました。商品券を利用可能な店舗とし

て登録すると、お店側はそれだけでも宣伝になり一定の誘客効果が見込めるため、地域の事業者の皆さまに評価していただけたことが大きいですね。会員数は97社(11月18日時点)まで増えており、目標とする100社に手が届くところまでできています。

九都連の活動を知り、入会したいと声をかけてもらうことも増えています。地域の振興と発展に寄与する活動を続けていくためにも、やはり一定の会員数を維持していくことは重要だと考えています。九都連に入会するこ

とによるメリットを感じてもらえるような取り組みの拡充、そのための意見交換を行う場を設けていきたいですね。

——会員の交流頻度は多いのでしょうか。

**坂本** 九都連では5月に定期総会、月に1度理事会を開催していますが、会員同士の交流は頻繁にあるというわけではありません。そこで、会員交流事業の一環として、今年初めて家族同伴OKのボウリング大会と懇親会を開催しました。会場は地元のスポーツ福岡とウエスト今宿店で、会員



絵画&写真コンクール表彰式で話す仁戸田元氣県議



表彰状を受け取る子どもたち



子どもたちが描いた絵画



同士だけでなくその家族の輪も広がり、大変有意義な会になったと思います。

九都連はまだ若い団体だからこそ、自分の意見が採用され、新しいことに挑戦できるチャンスがあります。理事の平均年齢も40代と、元気に溢れたメンバーが中心となって日々の活動に取り組んでいます。会員の誰もが積極的に動ける団体、その実現に向けた道筋を任期中にしっかりとつけていきたいと考えています。

## 九大という強みと新たな挑戦

——九大があるまちの事業者団体というのは、強みだと思います。

**坂本** 九都連祭では九大生の皆さんがボランティアとしてイベント運営に力を貸してくれるほか、ステージイベントではパフォーマンスを披露してくれるので、非常に助かっています。九大学研都市駅とその周辺エリアでは、九大伊都キャンパスの誕生以降まちづくりが盛んで、ファミリー層の定住も進んでいます。地元の皆さまに、ファミリー層を中心とする新住民の皆さま、そして次世代を担う学生と、垣根を越えて交流を深めることができるのが、この地域の強みだと思います。活力に満ちたこの若いまちの成長とともに、私たち九都連もともに成長し

ていきたいと考えています。

——予定されている新たな取り組みなどはありますか。

**坂本** 来年2月の提供を目指して、九大学研都市駅周辺エリアを対象としたバリアフリーマップの制作を進めています。マップでは車椅子の利用者が移動しやすい段差のないルート案内や、利用しや

すい飲食店情報の発信などを想定しています。これから勉強会などを通じて、より利便性の高いものへブラッシュアップしていくつもりです。

マップの制作は労力を必要としますが、アイデアや要望など、意見を出し合うなかで会員同士の理解も深まっており、良い機会になっています。どんどん新しいことに挑戦していくことが、九都連が地域の皆さまの夢を実現する、そのお手伝いができる団体へと成長するためには必要不可欠です。少子高齢化をとともう人口減少が避けられないなか、将来的には近隣エリアの周船寺、元岡、今宿の事業者団体とも手を携えて活動していくことも考えなければいけなくなるでしょう。それぞれ特



**坂本 博崇(さかもと・ひろたか)**

1979年生まれ。車検、板金、修理などを手がけるオートレックの代表として、地域に根ざし40年以上事業を行う。2022年4月より九大学研都市駅地区商業連盟会長を務める。

色のある地域ですので、広域連携による相乗効果の発揮は十分期待できると思います。

——最後に九都連が目指す理想像を教えてください。

**坂本** 九都連は地元の事業者の皆さまが活動しやすい事業環境の整備、イベントやセミナーなどの勉強会の開催、まちづくりの促進に資する活動などを通じて、「官・民・学・商」をつなぎ、九大学研都市駅周辺エリアをより良いまちへと成長させていきたいと考えています。目指しているのは人もまちもWin-Winの関係性です。そのためにも、私たち九都連もまちとともに絶えず成長を続け、老若男女問わず、誰もが明るいまちづくりに尽力してまいります。

(代 源太朗)